

研修会報告

「Quantum Computing: 最先端の現場から」

2月26日(金)

講演: 五味 和洋 氏 (Kazuhiro Gomi)

President & Chief Executive Officer, NTT Research, Inc.

研修担当理事: 入野 匡彦

2月26日(金)、ワシントン日本商工会はシリコンバレーの NTT Research, Inc.の五味氏をお招きして、ウェビナー“Quantum Computing: 最先端の現場から”を開催しました。日米両政府が量子コンピューティングの研究開発に力を入れる中、当日は約 40 名以上の方にご参加いただきました。

五味氏は慶應義塾大学大学院を卒業後、NTTに入社。主に研究開発分野でキャリアを積み、1992年にはイリノイ大学で Industrial Engineering の修士号を取得されています。その後、2010年からはNTTアメリカの代表取締役社長に就任、2020年には新たにシリコンバレーに設立されたNTTの研究所であるNTT Research, Inc.の代表取締役社長に着任され、日米を跨いだ量子コンピューティング、暗号化技術、バイオインフォマティクスの研究のマネジメントをされています。

当日の講演では、量子の特性(量子もつれ)についての基本的説明からスタートし、その特性を活かした量子計算機、量子通信、量子暗号(量子鍵配送)の基本的な原理についてご説明をいただきました。インターネットで広く用いられている暗号鍵を量子コンピューティングが解読する可能性とそのリアリティのお話は大変参考となりました。五味氏からの分かりやすい説明により、量子技術に普段なじみのない方々にも広くご理解いただける内容となったかと思えます。講演後半には質疑応答を行い、量子コンピューティング実現のための課題、日本企業の取り組み状況、実現の時期等について多数のご質問をいただき、五味氏から示唆に富んだご回答を頂きました。ワシントン DC 内でも量子コンピュー

テイングが話題になりつつあることから、会員の皆様にはお役に立つ情報をお届けすることが出来たと思います。

